

花と緑の銀行だより

192号 2014.7



撮影場所：高波花街道（砺波市）

目次

- ・花と緑の提言〈「花のまちとなみ」の緑花推進活動（砺波支店）〉…………… 2
- ・活動事例〈「花とのふれあいで明るく楽しい日々」（小矢部支店）〉…………… 3
- ・技術講座〈気軽に楽しむ花づくり 2〉…………… 4
- ・技術講座〈富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン^⑱〉…………… 5
- ・緑づくりコーナー〈庭木に利用する樹種の特徴と管理－アジサイー〉…………… 6
- ・情報コーナー〈「内閣総理大臣賞に導いた歩み」（砺波支店）〉…………… 7
- ・この人あり〈「私と花と緑」（上市支店）〉…………… 7



「花のまち となみ」の緑花推進活動

花と緑の銀行 砺波支店長

砺波市長 夏野 修

砺波市は、先人のたゆまぬ努力により、農・商・工のバランスの取れた田園都市として発展を遂げて参りました。住環境をはじめ医療や子育て環境、高齢者福祉の充実した住みやすい都市として、その豊かさ暮らしやすさは日本でもトップクラスであると自負しています。

毎年、ゴールデンウィークを中心として開催している「となみチューリップフェア」は、今年砺波市合併10周年記念行事として開催し、国内外から28万5千人ものお客様が来場されました。このフェアでは、各地区で樽プランターにチューリップの球根等を植え込んで、フェア開催前まで植栽管理していただき、期間中に会場内及び会場周辺に設置する「市民参加花いっぱい運動」を市民協働で取り組んでいます。このように、花と共に四季が



2014となみチューリップフェア

移り変わる「花のまち となみ」では、この活動の一つの例として市民一人ひとりが積極的に緑花推進活動に参画できるよう努めているところです。このことは、花と緑で彩られた美しい郷土づくりにつながり、市民共有の財産として次代に引き継ぎ、自然と共生し安全で安心して暮らせる快適な生活環境を実現するためにはなくてはならない活動であると思っています。

当市が策定している「新砺波市グリーンプラン」では、市民の皆さんの緑花活動を踏まえて、今後どのように市民の皆さんと一体となり、緑花活動を展開させていけばよいのかを重点に、具体的な取り組みを紹介しながら、時代に即した市民と市の

行動計画をまとめました。花と緑のもつ機能を十分に活かしながら、だれもが花と緑によって癒される都市を目指しています。

現在の緑花活動としては、市内各地区や協定を締結した町内会への苗木や花苗等の支給を行っているほか、花と緑の啓発事業の一環として、市民参加による「私たちの夢花壇」をチューリップ公園及びチューリップ四季彩館で実施しています。7月には「砺波市花と緑のコンクール」を実施しており、コンクール参加者の互いのコミュニケーションを図り、草花に関する情報交換による交流を深めています。それらは、更なる緑花を推進していくための大切な活動であると考えています。

また、JR砺波駅周辺にはフラワーボールやハンギングバスケット、デザインプランターなどを設置し、JRや高速バスを利用して当市を訪れる方々を「おもてなし」の心を持ってお迎えし、癒しと安らぎを提供できるように努めています。



JR砺波駅のフラワーボール

この様に当市は温かく気高い市民気質のもと、健全な緑花推進活動が推進されております。これらの活動は高く評価され、内閣総理大臣表彰などの全国レベルの表彰も多く受賞するなどしております。今後は、この恵まれた環境を活かし、「花のまち となみ」をさらに磨き上げ、「もうひとつ上の“となみ”」の実現を目指し、市民の皆さんとともに力強く挑戦していきたいと考えています。



花とのふれあいで明るく楽しい日々

花と緑の銀行 小矢部支店

殖生地方銀行 頭取 **吉田豊明**

私の所属する殖生地区は活動拠点であります殖生公民館前に大きな花壇があります。毎月1回以上は公民館へ出向いておりますが、いつも花壇の鮮やかな色彩に心を癒されます。

殖生地区の花づくりグループ11名は花壇作り、花研修を通じて自然への学びと花談議のおしゃべりをしながら楽しく皆さんと交流を深めています。昨年、小矢部福光線沿いに花壇をつくりました。前頭取さんが「どこか目立つところに花壇を作して下さい。」と提案されてできたものです。昨年は園芸高校より講師をお招きして花壇づくりをいたしました。土づくり、花の植え方、配列等基礎的なことを学びました。

今年はグリーンキーパーの皆さんが交代で水やりに来てくれます。その際に花の育成状況をよく観察しておられ、花の手入れ、追肥、防除について意見交換をしています。

子育て上手な奥様方ですから花壇づくりにもすばらしい才能を発揮されます。また、自ら育てた花の苗を持ち寄って植えていけます。皆さんの心温まる気づかいにはうれしく感謝いっぱいあります。

花壇に隣接して沿道沿いにはヒメイワダレソウが植えてあり、6月上旬から白い花が咲き誇ります。花壇との相乗効果により美しさがより引き立ち、散歩をされている方々から「綺麗ですね。」と言われます。また、近くにはスクールバス停があり、児童が列を成して歩いて来ます。私が除草作業をしていると「おはようございます。」「こんにちは。」と挨拶してくれます。なんともうれしい一瞬です。花を通じて近所の子供たちとふれあう機会ができ、地域の方とふれあうことができる花と緑の活動の輪を広げていきたいものです。



写真1:花壇苗の植付け(平成26年6月1日)



写真2:花盛りの殖生地区花と緑の会花壇(平成25年8月7日)

花壇をきれいに長く楽しむ秘訣

花と緑の銀行 普及研修部

花壇に花苗を植え付けた後、1ヶ月ほど過ぎると、枯れた株や生育の思わしくない株が出てきます。この空間をうまく修復することで、素敵な花壇を長く楽しむことができます。

また、生長が早いものは切り戻しをして花冠を整えたり、花の数を増やしたり、風通しを良くして、ムレを防ぐことが大切です。

1. 挿し芽の活用

修復に最も有効なものとしてはイボメアがあります。**イボメア・テラスライム**は生育が旺盛で、次々と茎を伸ばし、花壇を爽やかなライトグリーンに飾ってくれます。挿し芽で簡単に増やせるので、隙間が目立つところに挿しておけば、1ヶ月程度で緑の絨毯になります。

ただし、元気が良すぎて、まわりの花を傷めることがあるので、適度に切り戻すことが大切です。



写真1: イボメアの挿し芽直後と1ヶ月後



写真2: イボメアの挿し芽を利用した長く元気な花壇

イボメアの他にも、メランポジウム、コリウス、インパチェンスなどは簡単に挿し芽ができますので、修復にはとても便利です。

2. 切り戻しのポイント

植え付けた苗がしっかりと根付き、葉や茎を伸ばし始めたら、切り戻しが大切な作業となります。

サルビア・コクシネアは切り戻した後、1週間もすると次の花が咲き始めます。思い切って下の方から切ることをおすすめします。切り戻しの位置が高いと、徒長した草型になるだけでなく花穂が小さくなってしまいますので、注意して下さい。



写真3: サルビア・コクシネアの切り戻しと回復状況

サルビア・ファリナセアも大きな花を長く楽しむために、1～2枚下の葉を付けて切り戻します。ただし、次の花が咲き出すまでには3週間程度かかる場合があるので、早めの作業が大切です。

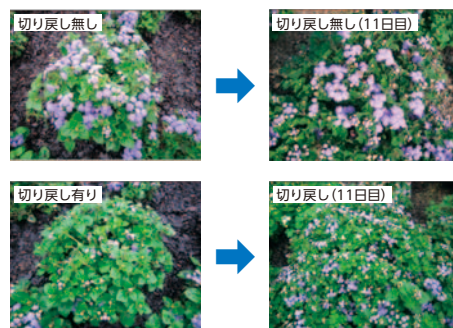


・1～2枚下の葉を付けて切る!

・花が咲きそうまで、3週間程度必要!

写真4: サルビア・ファリナセアの切り戻し

アゲラタムはこんもりとまとまるタイプなので、あまり切りつめる必要はないが、より一層、きれいに咲かせるには、的確な切り戻しが有効です。成長の早い枝を放置しておくとう花全体にばらつきが目立ち、バランスが崩れてしまいます。また、花の中央部は混んでムレやすくなるので、伸び過ぎた枝は早めに切り取り、こんもりと整った花冠に仕上げます。



・切り戻しで、均一な花冠形成!

写真5: アゲラタムの切り戻し

花を惜しんで切り戻しが遅れると、株元がムレて下葉が枯れやすくなります。また、株の力が衰えて、夏の暑さにも負けてしまいます。下葉が元気で濃い緑色のうちに、早めに切り戻しを行うことが、長く元気な花壇を保つ秘訣です。

3. 追肥の大切さ

切り戻しの後は、再生を助けるために、必ず追肥をします。生育量や将来どの程度にまで成長させたいかを考慮し、発酵油かすなど、十分発酵した有機質肥料を、㎡当たり50～100gを目安に施肥します。肥料の吸収は根の先端部分が旺盛なので、施肥位置は葉先より少し外側とし、臭いや動物の被害を防ぐためにも、土に少し埋めます。

追肥などで踏み固めた土は、水や空気が通りやすいように必ずほぐしておくことが大切です。

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン⑱

コレオプシス ‘ザグレブ’

職藝学院

教授 渡 邊 美保子

コレオプシスは、北アメリカ原産の宿根草で別名イトバハルシャギクといわれています。ザグレブは、草丈40cmほどの品種です。別名の名前のとおり、糸のような葉を持ち、6月の中旬には花壇を黄金色に染めつくします(写真1)。太陽の光と向かいあって咲いている姿を見ると元気がでます。同じ仲間にオオキンケイギクがありますが、日本の在来種に悪い影響を及ぼすため栽培が禁止されています。お庭に植えている方は、根っこごと掘り取り駆除してください。



写真1: 後方からコレオプシス、ビオラ(紫)、銅葉ミツバ

コレオプシス ‘ザグレブ’ は、6月初旬になると、茎の先端に4cmほどの小菊に似た花を一つ咲かせます。この一番初めに咲く花のことを一番花^{いちばんか}といいます(写真2)。一番花^{いちばんか}の見ごろは約5日ぐらいいです。一番花^{いちばんか}の花弁がよれよれになった頃には、花茎を約4cmほど下にたどると、節から向かいあって伸びた2本の茎の先に、それぞれ二番花^{にばんか}が咲き始めます。二番花^{にばんか}がくたびれた頃、その4cm下にある節から向かいあって伸びた2本の茎の先では、淡いレモン色の三番花^{さんばんか}のつぼみが次の出番を待っています。またまた、そのつぼみの約4cm下の節には、向かいあって伸びた2本の茎の先に、固く閉じた四番花^{よんばんか}のつぼみが細葉に守られながら気長に順番待ちをしています。コレオプシス ‘ザグレブ’ は、順番通りに規則正しく花を咲かせる几帳面な宿根草なのです。一つの花の開花は5日程度ですが、観賞できる期間は、かれこれ3週間ほどになります。一番花^{いちばんか}が咲き終わると、花の中心は真っ黒くなってしまい、次に咲いてくる黄色の花がくすんで見えてしまいます。ぴかぴかに光る黄金色の花壇を楽しむのなら、咲き終わった花を茎ごと丁寧に刈り込んでおきましょう。



写真2: コレオプシスの一番花、6月初旬

コレオプシスは、地下茎を横に伸ばし広がってゆきます。苗を植えた年は、ほとんど横に伸びる気配はありません。しかし、ひと冬越す度に自分の陣地を広げてゆきます。ところが、お隣さんにぶつかると、お隣さんを気づかうように、広がるスピードを落とします。他の種類の宿根草や一年草にも気配りができます。また、地下茎に水分と養分をため込んでいるおかげで、乾燥や少々の日照りにもよく耐えてくれます。たくさん肥料を食べたがることもありません。どんどん広がっていったほうがいい方は、コレオプシスの根が自由に伸びてゆける水はけが良くふかふかの土と、日当たりのよい場所を準備してあげてください。一度花壇を覆ってしまうと、その中には雑草が入り込めなくなるのでお手入れが楽になります。

コレオプシスと組み合わせる植物は、手前には草丈20cmほどの一年草や宿根草をお勧めします。コレオプシスの後ろには、草丈が60cm程度の宿根草を組み合わせるとバランスが良くなるでしょう。黄金色の花の開花時期と合わせて、白や紫系統の花の色を組み合わせると引き立ちます(写真3)。



写真3: 手前からコレオプシス、フランネルソウ(白)、サルビア・ネモロサ(紫)

庭木に利用する樹種の特徴と管理ーアジサイー

日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村正史

公園等では集団で、家庭では庭に単木あるいは数本で、それぞれアジサイ(図1)が植栽されています。梅雨に入ると一斉に咲き誇り、それは見事です。今は梅雨の最中でもありますので、アジサイを紹介します。

1. 特徴

アジサイは、広い意味ではアジサイ属植物の一部の仲間の総称ですが、狭い意味では品種の一つの名前です。後者のアジサイは、日本に自生するガクアジサイ(図2)から改良されたものです。日本のアジサイがヨーロッパに渡って品種改良されたものは、セイヨウアジサイと呼ばれています。

6～7月の梅雨の頃に開花し、白、青、紫または赤色の萼(がく)が大きく発達した装飾花をもっていきます。ガクアジサイではこれが本来の花の周辺部を縁取るように並んでいます(図2)。また装飾花のみとなったアジサイの園芸品種もあります(図3)。

花(正確には萼)の色は、アントシアニンのほか、その発色に影響する補助色素や、土壌のpH、アルミニウムイオン量、さらには開花からの日数によって様々に変化します。一般に「土壌が酸性ならば青、アルカリ性ならば赤」と言われていますが、土壌のpHは花色を決定する要因の一つに過ぎないようです。

なお、日本に生息する野生種は、ガクアジサイ、ヤマアジサイ、エゾアジサイ、タマアジサイなどがあります。エゾアジサイを除けば、富山県中央植物園で観賞することができます。

2. 維持管理

日当たりから半日陰の場所でよく育ちます。水を好む植物で、乾燥すると生育がてきめんに悪くなります。地植えで適湿地に植えている場合には、真夏に日照りが続く場合を除き、ほぼ自然の雨だけで十分生長します。日当たりがよく乾きやすい場所では、株のまわりに敷きワラなどマルチングを行ってください。じめじめした水はけの悪い場

所は適していません。

放置しておくと、年々大きくなって花の咲く位置も高くなりまので、株の大きさを一定に維持するために、花が終わった直後に剪定を行います。花芽は7～8月に形成されますので、それ以降に枝を落とすと花芽まで剪定してしまうので注意してください。



図1:アジサイ(2010年6月26日撮影)

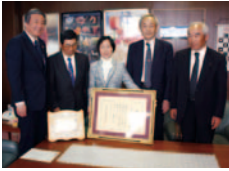


図2:ガクアジサイ(2012年6月28日撮影)



図3:装飾花のみの園芸品種(2010年6月26日撮影)

※写真は富山県中央植物園で撮影したものです。



内閣総理大臣賞に導いた歩み

花と緑の銀行 砺波支店

高波地方銀行 頭取

宮野 裕子

となみチューリップフェアが開催され、花冷えを感じる時節の4月25日、第8回みどりの式典へ出席し、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞してまいりました。天皇皇后両陛下ご臨席のもと、三権の長の来賓、また関係閣僚に農林水産大臣、国土交通大臣、環境大臣の皆さんが壇上に着席され、内閣総理大臣から賞状をいただくという式典でした。

協議会設立の経緯等

高波花と緑の推進協議会の設立は、砺波市連合婦人会による「1集落1花壇運動」の提唱を受け、高波婦人会が幼稚園の一角で花壇づくりを始めたことからでした。こうした花壇づくりの輪は地区全体に広がり、平成6年には、高波中央花壇が造成され、平成7年に、この花壇を管理していくために同会が設立されました。同会は、自治振興会、老人クラブ、婦人会、児童クラブ、母親クラブ、グリーンキーパーから構成され、「市民ぐるみのフラワー都市づくり」を目指す砺波市の緑化推進市民会議に参画し、地区民参加による花と緑の普及に加え、現在は各集落からの協力員と共に、潤いある村づくり運動を進めています。18年間にわたり、地域の花壇や花街道づくり、栽培方法の指導等を行い、花と緑に包まれた地域づくりをしています。

現在の活動状況

総延長500mの花街道は常に美しい状態で管理し、デザイン等に気を配り、会員が水遣りや除草等の栽培管理を実施し、こうした取り組みの成果により、高波中央公園周辺は、子供からお年寄りまで、地域住民の憩いの場として定着しています。また、高波花街道は“田園風景と共に安らぐ花の道”との評価を得ており、道行く人を楽しませると共に、通勤、通学者の心癒す、と親しまれています。また、同会は、花壇や花のまちづくりを通じて、幼稚園児や小学校の児童に自然を慈しむ心を養わせたいと、幼稚園での三世代交流など、花育活動を進めています。このたびの受賞は先輩方の尽力と共に、多くの関係者からの指導、支援を頂き、長きに渡り続いた結果と感謝しています。今後も緑化推進に取り組み努力してまいりたいと思います。



〈この人あり〉



「私と花と緑」

現在、上市支店では27名の頭取、グリーンキーパーが上市町を花と笑顔であふれる美しい町にすることを目指し、日々花と緑の活動を行っています。

私個人の活動では、小学校や公民館などでサルビアの花摘みの指導や、花植え体験学習の企画を子どもたち相手に行っています。子どもたちが楽しそうに花とふれあう姿はとても微笑ましく、こちらもうれしくなります。子どもたちが小さな頃から花に親しむことで、身の回りの花や緑を愛し、豊かな心を育むようになればと願いながら活動しています。

支店では平成25年に新町制60周年記念としてリニューアルした花壇での花づくりが主な活動です。最近、土づくりと花植えを行い、立派な花壇が出来上がりました。花好きが集まり、技術や知識を共に教えあいながら、和気あいあいと過ごす時間はとても素晴らしいものです。完成した花壇は色とりどりの花が咲き乱れ、見る人の心を和ませ、明るく



写真1:花壇花苗植込み(平成26年6月)

花と緑の銀行 上市支店

白萩地方銀行 頭取

十文字 一郎

してくれるでしょう。これから秋まで、水やりなどの毎日の世話をメンバーで分担して行い、多くの町の皆様に見て楽しんでもらえる花壇を作っていきたいと思っています。

また、今まで上市支店では、コンテナガーデンコンテストに4年連続で入賞しており、平成23年度には大賞をいただきました。私たちの日頃の活動の成果と花に対する思いを評価していただき、大変ありがたく思っています。今年度のコンテストも創意工夫のある上市支店らしい作品を仲間たちと一緒に作り上げたいと思います。

上市町は剣岳、日石寺など自然と文化が融合した美しい町だと思います。私たちは花と緑の推進活動を通し、この町をさらに美しく、そして活性化できるようにこれからも地域での活動を続けていきます。



写真2:コンテナガーデンコンテスト(平成26年3月)

表紙写真 : 撮影場所 高波花街道(砺波市)

裏表紙写真:「ゼンマイの崖 平成24年6月下旬 南砺市梨谷にて」…写真提供 長谷川 幹夫氏





「ゼンマイの崖 平成24年6月下旬 南砺市梨谷にて」



花と緑の銀行だより 192号

発行日 平成26年7月

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>